平成24年４月11日（水）県庁（自治会館会議棟）
平成24年度「心の元気を育てる地域支援事業」第１回合同会議
自律の根を張った子どもを育てよう
ー　小中連携の充実と
自ら行動する力の育成を通してー
生活三訓
挨拶をする
時間を守る
整理整頓をする
竹原中学校生徒会
凛として
困難なことに向きあえる精神力
守破離
型を学ぶ
型を基盤として自分の個性を発揮する
自己の生き方を選択・自立する
竹原市立竹原中学校　校長　斎藤　美由紀

♪君のふるさと♪

作詞　生徒・保護者・竹原市民・パラレルリーブ
作曲　パラレルリーブ
プロデュサー　RCC　アナウンサー　横山雄二

賀茂川の土手に　桜が咲いているね
大き過ぎる制服と　はしゃぐ子どもたち
同じ教室で　ともに笑いあった
いつの時代も　この町は　希望であふれている
きみがいて　ぼくがいて　ひとりじゃないよ
迷う日もあるけれど　泣いて笑って　強くなれた
ふるさとは　かわらずに　また　きみのこと　迎えるから
きみの信じる道を　おそれずに　まっすぐ　進めばいい

みんなそれぞれに　大人になっていくよ
言えなかった　ごめんねも　ありがとうに代えて伝えよう
きみがいて　ぼくがいて　毎日が続く
悲しいことがあるのなら　一緒に歌おう　また一つ強くなれた
この町の想い出が　ぼくたちを　支えてくれる
ともに笑いあった日々を胸に　一歩ずつ　未来へ進もう

思い出して　ふるさと(竹原)は　かわらずに　ここにあるよ
どんなときでも　待っているよ
帰っておいで　一緒に歌おう

ふるさとは　かわらずに　また　きみのことをむかえるから
きみの信じる道をおそれずに　まっすぐ　進めばいい

実践発表の内容

1　竹原市・竹原中学校区の紹介

2　竹原中学校における生徒指導上の現状と課題

3　心の元気を育てる地域支援事業の取組

4　取組の成果と課題

Spring

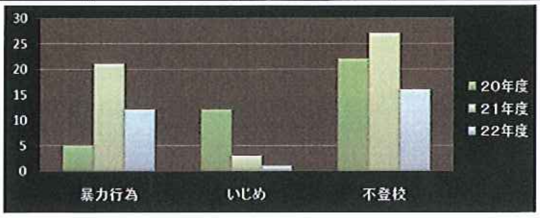
竹原市・竹原中学校区の紹介

推進校名	児童生徒数	教職員数
竹原中学校	461	35
大乗小学校	117	15
竹原小学校	231	21
中通小学校	123	14
竹原西小学校	329	29

竹原中学校における　生徒指導上の現状と課題

生徒指導上の諸問題
（平成20年度～22年度）

年度	暴力行為（発生件数）	いじめ（認知件数）	不登校（人数）
平成20年度	5	12	22
平成21年度	21	3	27
平成22年度	12	1	16

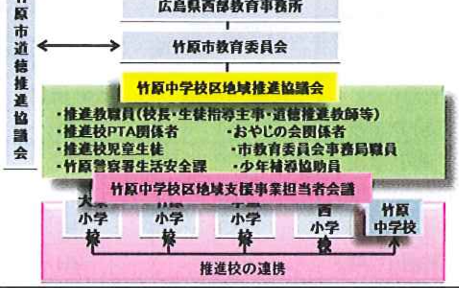


学校・地域等で起こす問題行動の実態
（～平成22年）

○　集団生活に溶け込めない怠学傾向の生徒
○　対教師暴力・性に関する事案，触法行為にかかわる生徒
○　校則違反（茶髪，ピアス等）をする生徒
○　喫煙・万引き・窃盗，深夜徘徊・器物破損遅刻・早退・暴言，授業中に教室を抜け出る生徒
○　学校周辺をたむろする生徒　等

「心の元気を育てる　地域支援事業」の取組

「心の元気を育てる地域支援事業」竹原中学校区推進体制



竹原中学校区推進協議会構成メンバー

所属	氏名	備考	所属	氏名	備考
竹原中学校	斎藤美由紀	校長	竹原中地域	宮田　睦	協議会代表
竹原中学校	堀井　賢一	道徳推進教諭	大乗小地域	原田　千鳥	公民館館長
竹原中学校	吉田　光範	生徒指導主事	竹原小地域	佐渡　桑	竹原ネットワーク
大乗小学校	石原　直久	生徒指導主事	中通小地域	縄田一九二	公民館館長
竹原小学校	富本　健司	生徒指導主事	竹原西小地域	松田　勇	自治会副会長
中通小学校	有松　浩司	生徒指導主事	おやじの会	大田　哲也	おやじの会代表
竹原西小学校	溝上　孝弘	生徒指導主事	生徒代表	九十九佳笑	竹中生徒会長
竹原警察署	中倉　国明	生活安全課長	市少年補導	山崎　繁雄	補助員
市教委事務局	亀井　伸幸	学校教育課長	市教委事務局	大政　勇司	主査兼指導主事

「…子どもを育てる」とは、

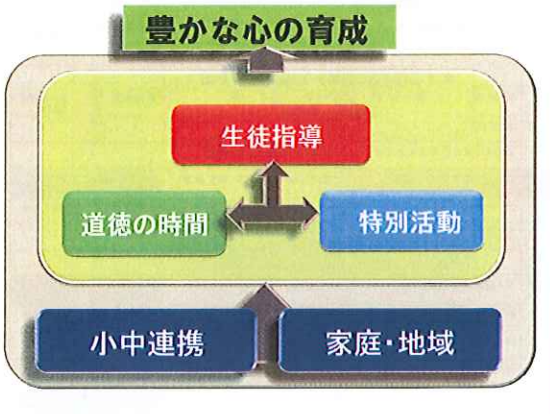
◆ 子…
家…

◆ 子…
自ら…
仕組むようにしていきたい。

◆ 縦(小中連携)と横(家庭・地域等)のつながりで、「活動モデル」「グランドデザイン」を構想化していくために、様々な具体的なアイデアをいただきたい。

自己有用感が実感できる体験活動

第1回地域推進協議会(平成23年6月2日)から



平成23年度　地域推進会議・担当者会議・体験活動実施一覧表（竹原中学校区）

時期	推進協議会等	校内研修（内容）	体験活動等	参加・協力者等
4月		道徳教育研修「本年度の方向性」	賀茂川清掃	PTA
5月		校内授業研修「道徳の時間」	花づくり	
6月	第1回地域推進協議会	校内研修「積極的生徒指導」	職場体験	商工会議所 教職員
6月	第1回地域支援事業担当者会議			
7月	第2回地域支援事業担当者会議	校内授業研修「道徳の時間」		
8月	地域支援事業全体研修会	校内研修「道徳教育ー模擬授業」	クリーン作戦集団登校	PTA 生徒会
9月	第2回地域推進協議会	教育研究会「道徳の時間」	おやじに学ぶ	おやじの会
10月	第3回地域支援事業担当者会議	校内研修「体験活動の進め方」	環境整備作業	PTA
10月		校内授業研修「道徳の時間」		
11月	第4回地域支援事業担当者会議		第1回竹原地域まるごとクリーン活動	推進協議会（小中合同）
12月	第3回地域推進協議会	校内授業研修「道徳の時間」	福祉体験活動	福祉団体
1月	第5・6回地域支援事業担当者会議	地域公開「道徳の時間」		
2月	第4回地域推進協議会			
3月			第2回竹原地域まるごとクリーン活動	推進協議会（小中合同）

地域支援事業全体研修会
（小中合同研修会：平成２３年８月９日）

平成23年度　地域推進会議・担当者会議・体験活動実施一覧表（竹原中学校区）

時期	推進協議会等	校内研修（内容）	体験活動等	参加・協力者等
4月		道徳教育研修「本年度の方向性」	賀茂川清掃	PTA
5月		校内授業研修「道徳の時間」	花づくり	
6月	第1回地域推進協議会	校内研修「積極的生徒指導」	職場体験	商工会議所 教職員
6月	第1回地域支援事業担当者会議			
7月	第2回地域支援事業担当者会議	校内授業研修「道徳の時間」		
8月	地域支援事業全体研修会	校内研修「道徳教育ー模擬授業」	クリーン作戦集団登校	PTA 生徒会
9月	第2回地域推進協議会 教育研究会「道徳の時間」		おやじに学ぶ	おやじの会
10月	第3回地域支援事業担当者会議	校内研修「体験活動の進め方」	環境整備作業	PTA
10月		校内授業研修「道徳の時間」		
11月	第4回地域支援事業担当者会議		第2回竹原地域まるごとクリーン活動	推進協議会（小中合同）
12月	第3回地域推進協議会	校内授業研修「道徳の時間」	福祉体験活動	福祉団体
1月	第5・6回地域支援事業担当者会議	地域公開「道徳の時間」		
2月	第4回地域推進協議会			
3月			第2回竹原地域まるごとクリーン活動	推進協議会（小中合同）

道徳の授業改善
（体験活動と関連づけた授業づくり）

平成23年度　地域推進会議・担当者会議・体験活動実施一覧表（竹原中学校区）

時期	推進協議会等	校内研修（内容）	体験活動等	参加・協力者等
4月		「…」	賀茂川清掃	PTA
5月			↑ 花づくり	
6月	第1回地…		職場体験	商工会議所 事業員
6月	第1回地…		↓	
7月	第2回地域支援事業担当者会議	校内授業研修「道徳の時間」		
8月	地域支援事業全体研修会	校内研修「道徳教育ー模擬授業」	クリーン作戦集団登校	PTA 生徒会
9月	第2回地…		おやじに学ぶ	おやじの会
10月	第3回地…		環境整備作業	PTA
10月				
11月	第4回地…		第1回竹原地域まるごとクリーン活動	推進協議会（小中合同）
12月	第3回地…		福祉体験活動	福祉団体
1月	第5・6回…			
2月	第4回地…			
3月			第2回竹原地域まるごとクリーン活動	推進協議会（小中合同）

★《職場体験活動》7月中旬～下旬
キャリア・スタート・ウイーク
事業所へのお礼

★《生徒会行事》8月5日
・　各支部の3年がリーダーとなり，通学路を清掃しながら集団登校

★《小中連携》
小中合同お掃除下校
・　下校時に小・中・地域の方と一緒に清掃活動を行う

クリーン作戦集団登校　（平成２３年８月６日：中国新聞掲載）

通学路をピッカピカに

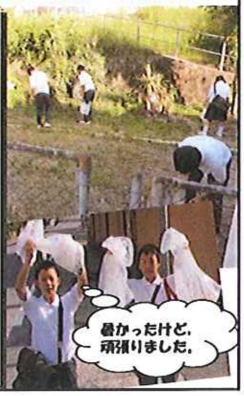
竹原中全校生徒　登校日ごみ拾い

竹原市下野町の竹原中は5日、ごみを拾い登校する「クリーン作戦」を初めて実施した。夏休みの登校日に全校生徒約450人が通学路をきれいにした。

地域の美化に貢献するため生徒会が発案した。通学区域ごとに7～30人のグループをつくり、ペットボトルや空き缶を拾い集めた。JR呉線で通う約80人は、学校の最寄りの竹原駅や商店街などを清掃した。

同校は昨年から校内美化に力を入れている。3年[illegible]（14）は「私たちの住む竹原がきれいになり、気持ちいい」と喜んでいた。（白石誠）

登校中に拾ったごみを学校に持ち帰る生徒



職場体験活動　事業所へのお礼（平成２３年７月中旬～下旬）

V-SAT活動(竹原中学校地域貢献活動)

地域貢献活動の活動内容の募集について（依頼）

V・SAT
Volunteer Student Association of Takehara Junior high-school since 2011

本校では，本年度広島県教育委員会より「心の元気を育てる地域支援事業」の指定を受け，地域・家庭・学校の共通の目標として「自律の根を張った子どもを育てよう」という「地域まるごと宣言」を発信しました。そして，その宣言の実現に向け，地域・家庭・学校が一体となった体験活動を実施する中で，子どもたちの自尊感情を高め，社会参加の意欲や態度など，豊かな心の育成を図る取組を進めております。

そこで，この度，保護者や地域の皆様から「環境美化，福祉，スポーツ，文化，芸術」等に関する地域貢献活動の活動内容を募集し，中学生をその活動に協力させるよう企画しております。

美術部V-SAT活動

美術部が、「憩う～
家」店から、看板作
りを依頼され、作成
しました。アイフル
通りの店舗に掲げら
れます。

平成23年9月11日

七夕祭り～美術部作品～

平成23年度作品
…年度作品
平成21年度作品

V-SAT活動　平成23年10月16日

竹場会いきいき交流会で、吹奏楽部がボランティア演奏

吹奏楽部　V-SAT活動

吹奏楽部が竹原町女性会の招きで、竹原町敬老会のオープニングで演奏しました。

演奏曲
ヘビーローテーション
明日があるさ
松ケンサンバ
ふるさと

ふるさとの演奏とともに、合唱が起こり、会場が一体化しました。
敬老会関係者は、「感動しました。」と話してくれました。

竹原地域まるごとクリーン活動

（小学生・中学生・地域の方との合同清掃活動　平成23年11月24日）

学校	ねらい	対象者	備考
竹原中	・出身小学校，地域の方々と共に清掃活動，貢献することで自己有用感を実感させる。	・中学3年生（167名）	・各校のリーダー，メンバーは，小学生の安全確保と活動補助にかかわる。
大乗小	・異学年形成による役割と責任，社会の一員として自覚と行動する態度を育てる。	・5・6年生 ・本校出身の中学3年生	・保護者，地域「町づくり協議会」へ事前の参加要請
竹原小	・自尊感情，社会参加の意欲・態度，豊かな心を育てる。	・4年～6年生 ・本校出身の中学3年生	・各子ども会を担当する中学生がリーダーとなる。
中通小	・勤労奉仕の精神と地域への愛着を育てる。 ・主体的に行動する態度	・3年～6年生 ・本校出身の中学3年生	・登校班ごとに下校 ・ゴミは中学生が集める。
竹原西小	・自分・学校・地域を大切にする子どもを育てる。 ・中学生からモデルとなる姿を学ぶ。	・5・6年生（120名） ・本校出身の中学3年生	・各子ども会を担当する中学生がリーダーとなる。 ・解散前に肯定的評価をする。

中国新聞 2011年11月30日 水曜日 面名 呉・東広島 地方 26ページ

タウン リポーター発

小中生ら協力 通学路を清掃

竹原市―高崎町―

市内4小の児童365人と竹原中3年生160人の計525人が「竹原地域まるごとクリーン活動」として、JR大乗駅周辺など通学路で清掃活動した。自分たちが住む街をきれいにしようと今年、小中学校が連携して始めた。大乗駅周辺では、大乗小5、6年生と地元の竹原中生が協力。住民や保護者とともに、ペットボトルなどを拾い集めた＝写真。

竹原中の井上慎也君（15）は「地域の人と清掃する機会がもっとあったらいい」と汗をぬぐっていた。

竹原、竹原西、中通小もそれぞれの地元で取り組んだ。各小学校区に住む竹原中生が協力した。（秋元優子）

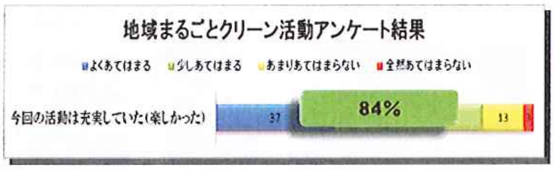
(C) 中国新聞社 無断転載、複製及び頒布は禁止します。

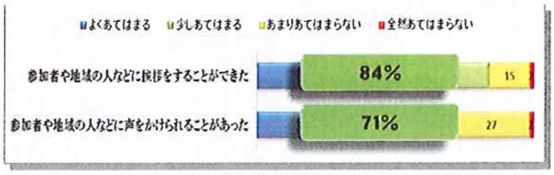
中通小4・5・6年生児童と中学3年生
竹原小4・5・6年生児童と中学3年生
大乗小5・6年生児童と中学3年生
竹西小5・6年生児童と中学3年生

竹原地域まるごとクリーン活動②

（平成24年３月１日）

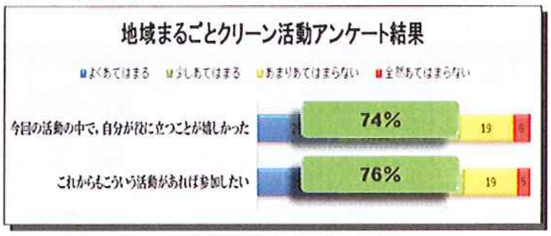
一緒に町をきれいにしましょう！





◆活動を通して何を学ぶことができましたか。

- 地域の人たちや小学生と交流して，地域のあたたかさを感じた。地域交流はとても大切だと思った。
- 人の役に立つこと，自分の役割があることの喜び，ボランティアの楽しさを学んだ。
- リーダーとして引っ張っていくことの難しさ，ゴミや大量の落ち葉を拾う大変さ，自分から進んでやることの大切さを学んだ。
- ただゴミを拾うことだけではなく，人と協力することの大切さを学ぶことができました。ゴミを拾う活動を通して，人との交流を深めることができるのはとても嬉しいことだと思います。



◆ 活動の中で「こんな自分は素敵だな」「こんな自分はかっこいいな」と感じたこと，あるいは，「あんな行動は素敵だな」「あんな行動はかっこいいな」と感じたことを書いてください。

- 小学生に声をかけて引っ張っていく行動や，自ら進んでゴミを拾う姿はかっこいいと思った。
- 自分たちの住む町をきれいにすることで，自分も気持ちがいいし，地域の方々にたくさん「ありがとう」と言われて，よかったと思えました。
- 普段，ゴミを拾わない自分が，少ない数でしたがゴミを拾うことができて，すごいと思いました。

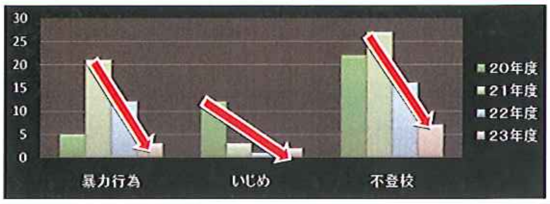
- ゴミを見つけたらすぐに拾っている人の姿を見て，意識が高いなと思いました。
- 小学生にも進んで声をかけ，楽しみながらゴミ拾いをしている姿は見ていて楽しくなりました。

竹原中学校区の取組の様子と成果

取組の成果と課題

平成23年度
生徒指導上の諸問題　数値の変化

年度	暴力行為（発生件数）	いじめ（認知件数）	不登校（人数）
平成20年度	5	12	22
平成21年度	21	3	27
平成22年度	12	1	16
平成23年度	3	2	7



【取組の成果と課題】

《成果》

① 問題行動数の減少
② 社会貢献に対する意識の高揚
③ 生徒会活動の活性化
④ 教職員の変容
⑤ 学校全体に活力・底力が生まれる
⑥ 小中連携・関係機関との指導の統一性・信頼関係の構築
⑦ 道徳の時間の授業改善（※体験活動を生かした授業）

《課題》

① 内面的な「心の荒れ」への対応
② 地域とのつながりを図る取組の
　さらなる充実

友愛・挑戦・克己

竹原っこ夢プロジェクト事業

（平成24年3月10日：中国新聞掲載）

♪泣いて笑って強くなれた♪
竹原中の応援歌が完成

パラレルリーブの2人（右奥）が歌う応援歌を聴く生徒たち

竹原市（竹原市下野町）の応援歌「君のふるさと」ができ、作詞作曲した広島市のデュオ「パラレルリーブ」が9日、同校であった3年生を送る会で披露した。生徒や保護者が寄せたメッセージを歌詞にちりばめている。

「迷う日もあるけれど　泣いて笑って歩くなれた」。仲間と離れ合い、競いながら成長した学校生活を振り返り、「きみの信じる道をおそれずにまっすぐ進めばいい」とエールを送っている。

送る会には全校生徒461人が出席。パラレルリーブが歌う応援歌に聞き入った。3年九十九仟笑さん(15)は「前を向いて歩いていこうという勇気をもらえた」と喜んでいた。

同校は応援歌作りを企画し、生徒たちにメッセージを募った。昨年秋に授業に招いた中国放送のアナウンサーが取り組みを知り、パラレルリーブの田村孔一さん(22)を紹介。曲作りを依頼することになった。田村さんは「気軽に口ずさんでほしい」と願っている。

（山下悟史）